

手ひねり陶芸2日目を 開催しました！

12月16日(土)、前回につづいて第2日目を迎えました。この日は仕上げ(削り)をします。前回作った作品の裏を削って形を整えるのが今日の大きな目標です。

まず、手回しろくろの中央に作品を裏向けた状態にして置きます。作品がろくろ台の中央にきちんと適切に収まらないと削っていくうちに形がいびつになると聞き、慎重にかつ状態をきちんと確かめながら、またせっかくの制作途中の作品が壊れてしまわないようにそおっと優しく設置。息が詰まる瞬間でもありました。中央に無事置き終わると一仕事終えた不思議な満足感が生まれてきたようでした。そこでは参加者の皆さんは安堵の表情を浮かべておられる様子が伺い知れました。

その後、軸になる線を針で描きろくろ台を回します。ここで利き手を反対の手で支え固定することがポイントと聞き、かえって力が入ってしまいぎこちない線になってしまいました。しかし、何回かこなしていくうちにスムーズに線を描きながらろくろをまわすことができるようになりました。次に線を描いたところ以外をワイヤーベラで削ります。あまり大胆に削ると穴が開くと聞き、ここは慎重に慎重に少しずつ整えながら削ります。緊張の連続で肩がこる作業でした。仕上げに底の厚みを均一にし、でこぼこしている部分をなくすために水を絞ったスポンジをつかってなめらかにします。するとだんだん表面がつるつるになり、滑らかになりました。完成です。

800度で素焼きをした後に、希望した色の釉薬をつけて1230度で本焼きをします。完成が楽しみです。なお、完成した作品は、自然の家から作られた方に連絡をして後日引き取りに来ていただくことになっています。

みなさん思い思いの作品づくりに没頭し、お互いの作品をめであいながら和気藹々のうちに終わることができました。ご参加いただいた皆様は、きっと陶器ができあがるのを心待ちにされていることでしょうか。お疲れ様でした。

また、電動ろくろを使ってのろくろ陶芸も開催しております。さらに絵付け陶芸も計画にあります。その節には、荒神山自然の家で電動ろくろや絵付けで陶芸作品作りにチャレンジしてみませんか。

所員一同、皆様のおいでを心待ちにしております。

活動の様子（午前の部）



活動の様子（午後の部）



